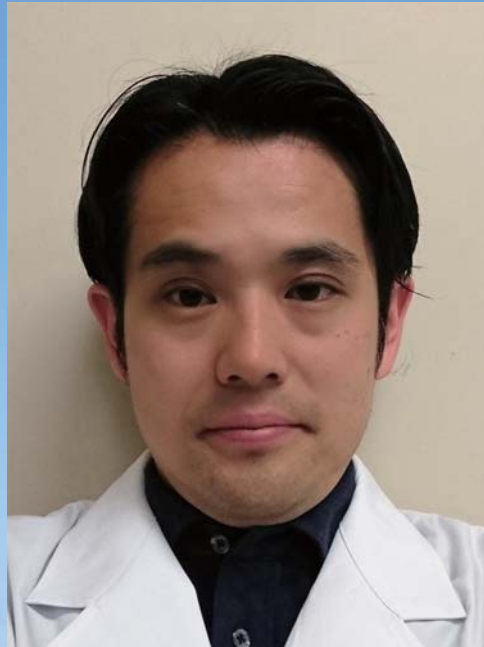


「免疫不全マウスを用いた中枢神経白血病の病態解析」



2017年6月23日(金) 17:30 - 19:00

金沢医科大学 医学教育棟 4階 中会議室

京都大学大学院医学研究科 発達小児科学

助教 加藤 格 先生

我々は、高度免疫不全マウス (NOG mouse) を使用した xenograft model を用いて小児白血病動態の研究を行っている。小児白血病において、中枢神経 (CNS) は主要な再発部位だが、CNS に浸潤・生存する白血病細胞の動態については明らかにされていない。本セミナーでは、中枢神経に浸潤した白血病細胞は、骨髄に存在する白血病細胞と比較し低酸素環境に適合した特殊な遺伝子発現パターンを有し、特徴的な代謝シフトを示すことを明らかにし、VEGFA を新たな治療標的として提示した研究を紹介する。

【参考文献】

Hypoxic adaptation of leukemic cells infiltrating the CNS affords a therapeutic strategy targeting VEGF.

Kato et al., Blood 2017

